

カリフラワー調査方法

1 試験区ならびに調査対象株数及び面積

項目		必要株数(最少株数)	必要面積(最小面積)*
試験区(1区当り)		4畝×12株=48株(4畝×7株=28株)	16.2㎡(9.5㎡)
調査対象(1区当り)	生育調査等	20株(10株)	6.8㎡(3.4㎡)
	収量調査等	20株(10株)	6.8㎡(3.4㎡)

* :栽植密度を畝幅75cm×株間45cm、a当り296株としたときの面積

2 生育調査

項目			調査基準	ランク	調査	単位	最小桁調査
発芽	期		播種粒数の40~50%が発芽した日	C	観察	月日	1
	率		播種後10日目が発芽割合	B	測算	%	1
定植時の苗質	葉数		葉長2.5cm以上の葉	A	測算	枚	1
	苗の全長		地際から最大葉先端部までの長さ	A	測定	cm	0.1
	葉長		最大葉長	A	測定	cm	0.1
出蕾	始期		10%の株が出蕾した日	C	観察	月日	1
	期		40~50%の株が出蕾した日	A	観察	月日	1
生育(出蕾期)	葉数		生葉数	A	測算	枚	1
	葉長		最大葉で測定	A	測定	cm	1
	花蕾球包葉の程度		包葉の程度を観察[全体]5~[無]1	A	観察	指数	1
収穫	始期		10%の株が収穫可能な日	C	観察	月日	1
	期		40~50%の株が収穫可能な日	A	観察	月日	1
	終期		収穫を終えた日又は収穫打ち切り日	C	観察	月日	1
	期間		収穫始期から終期までの日数	B	算出	日	1
	花蕾球包葉の程度		包葉の程度を観察[全体]5~[無]1	A	観察	指数	1
花蕾発育日数			出蕾期から収穫期までの日数	C	算出	日	1
生育日数			播種期から収穫期までの日数	B	算出	日	1
障害の発生程度	病害	花蕾腐敗症、軟腐病など	障害の種類別に発生株率で 0:無 発生が認められない 1:微 10%未満の株に発生 2:少 10~20%未満の株に発生 3:多 20~40%未満の株に発生 4:甚 40%以上の株に発生	A	観察	指数	1
	虫害						
	生理障害	ボトニングリー、フィー不整形、毛羽立ち、アントシアンなど					

3 収量調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査	
障害株数		収穫不能な病虫害および未花蕾株	B	測算	株	1	
収穫花蕾数	規格内	2L	出荷基準による 800～1000g未満	C	測算	個	1
		L	650～800g未満	C	測算	個	1
		M	500～650g未満	C	測算	個	1
		計		B	算出	個	1
	規格外	着色花蕾及び軽微な生理障害花蕾を含む	B	測算	個	1	
	障害	病虫害および生理障害花蕾	B	測算	個	1	
合計			B	算出	個	1	
規格別収量	規格内	2L	出荷基準による 800～1000g未満	B	測定	g	1
		L	650～800g未満	B	測定	g	1
		M	500～650g未満	B	測定	g	1
		計		A	算出	g	1
	規格外	着色花蕾及び軽微な生理障害花蕾を含む	A	測定	g	1	
合計			A	算出	g	1	
障害株(花蕾)および規格外花蕾数割合	病虫害 花蕾腐敗症		$(\text{個数(株数)} / \text{栽植株数}) \times 100$	A	算出	%	1
	生理障害			B	算出	%	1
	ボトニング			A	算出	%	1
	リーフィー			B	算出	%	1
	規格外			B	算出	%	1
欠株率		$(\text{栽植株数} - \text{障害株数} + \text{収穫株数}) / \text{栽植株数} \times 100$	A	算出	%	1	

4 特性調査

項目		調査基準	ランク	調査	単位	最小桁 調査
平均花蕾重		$(\text{規格内収量} + \text{規格外収量}) / (\text{規格内花蕾数} + \text{規格外花蕾数})$	A	算出	g	1
花蕾の外観等	形状	[扁平]4～[平]3～[丸]2～[尖]1	B	観察	指数	1
	しまり	[堅い]5～[中]3～[ゆるい]1	B	観察	指数	1
	色	[白]4～[乳白]3～[黄白]2～[淡黄]1	B	観察	指数	1
	凹凸	[少]5～[中]3～[多]1	B	観察	指数	1
	総合評価	[良]5～[標準]3～[不良]1	A	観察	指数	1
花蕾球包葉の程度		包葉の程度を観察[全体]5～[無]1	A	観察	指数	1

